

修士生VOICE

丁寧な指導のおかげで仕事と研究を両立
経験を臨床における看護の質向上へ

成人看護学と研究の基礎を学びたいと考え、本学看護学
研究科修士課程へ進学しました。臨床で周手術期看護に
携わる中で、日常的に行われている創傷管理の実践が、ど
のような根拠や意図に基づいて行われているのかを明らか
にしたいという思いが研究の出発点でした。大学院では勤
務を続けながら通学し、仕事と研究の両立に試行錯誤す
る日々でしたが、指導教授の丁寧な指導のもと研究を進
める中で、研究の基礎を学ぶことができました。また、研究活動を通して臨床で行
われている看護実践の意味や根拠を深く考え、看護の専門性について改めて見つ
め直す貴重な機会となりました。大学院で培った視点は、日々の看護実践をより深
く考えるための大きな力になっています。今後もこの経験を活かし、臨床における看
護の質向上に貢献していきたいと考えています。

大学院生VOICE

科目等履修生を経て大学院進学
認知症看護を院内外に広げたい

私は、認知症看護についてより深く学びたいと考え、認知
症看護認定看護師の資格を取得しました。現在は病棟か
ら外来へと看護実践の場は変わりましたが、病院全体で認
知症の方を支える重要性を日々実感しています。認定看護
師には「実践・指導・相談」という役割がありますが、実
践している認知症看護をどのように他者へ伝えていくか、ま
た院内にとどまらず地域で生活する認知症の方への支援を
どのように広げていくかに課題を感じてきました。これらを体系的に学び、より広い視
野で看護を捉えたいと考え、大学院への進学を決意しました。昨年、科目等履修生
として講義を受講し、大学院での学び方に触れたことも進学への大きな後押しとなり
ました。現在は、大学院生の仲間とディスカッションを重ねる中で、多様な意見や考
え方に触れ、自身の視野が広がっていくことを実感しています。今後は、認知症の方
が地域で安心して生活できるよう支える存在となることを目指し、その実践方法につ
いて研究を深めていきたいと考えています。

施設・設備



図書館



院生室

科目等履修制度について

2024年度より科目等履修制度が導入されました。看護学研究科で開講している科目を先行して履修することができ、より具体的に大学院での学びをイメージしていただくことが可能です。科目等履修生として修得した単位は入学後に認定され、修了要件の単位に充当することができます。(上限10単位まで)

看護実践研究センター

広く学べるさまざまな研修プログラム

年間を通して、看護の研究方法や看護倫理、多職種連携などをテーマとした看護職向け研修プログラムを提供しており、大学院生も参加できます。また、臨床現場で行う個別の研究に関する相談にも応じています。



詳しくはHPを
ご覧ください

より深い実践の重要性を感じ進学
チーム医療にも貢献できる学びを得る

看護師としての臨床経験を積む中で、より深い知識とエビ
デンスに基づいた実践の重要性を感じ、内科脳外科 急
性期病棟で働きながら日本福祉大学大学院看護学研究
科に進学しました。仕事と学業の両立は決して簡単ではあ
りませんでしたが、学びを実践に活かすことで、より広い視
野を持つことができました。大学院では『小児看護学実習
における学生のコミュニケーション・スキルの実態と関連
要因』について研究し、諸先生方には丁寧な指導をいた
だくことで量的研究を学ぶことができました。大学院での学びは、自分の成長だけ
でなく、患者さんやチーム医療にも良い影響を与えたと実感しています。今後も医療
現場での実践と研究を両立させながら、より良い看護の提供をめざし後輩の育成に
も参加したいと考えています。これから進学を考えている方には、ぜひ新たな挑戦を
楽しんでほしいと思います。



いけだ ましえ
池田 佳江さん
2024年度修了
学校法人藤田学園
藤田医科大学
ばんだね病院
看護師

学費(2027年度[予定])

	研究コース・地域共生看護コース (2年履修コース)	地域共生看護コース (1年履修コース)
入 学 金(初年度のみ)	200,000円	200,000円
授 業 料(年額)	800,000円	800,000円
教育環境充実費(年額)	150,000円	150,000円
学生教育研究災害障害保険(初年度のみ)	1,750円	1,000円
合 計	1,151,750円	1,151,000円

本学学部卒業生、本法人が設置する専門学校および付属高校卒業生の入学金は半額となります。

看護学研究科の概要

◎名称／看護学研究科看護学専攻 ◎学位名称／修士(看護学) ◎入学定員／10名 ◎場所／東海キャンパス
◎授業時間／月～金曜日 3～6限

長期履修制度

標準修業年限の2年では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、あらかじめ計画的に3年間での修学を認める制度です。
本制度の適用を申請し、それが認められた場合の授業料は、通常の2年間分の授業料を3年間で分割納入することができます。
なお分割納入の方法としては、1年目は通常授業料、2・3年目に通常授業料の半額ずつを分割する形となります。

教育訓練給付金制度

雇用保険の給付制度で、一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が入学し
修了した場合に、在学中に支払った学費の一定割合に相当する額がハローワークから支給される制度です。
※教育訓練給付金の支給要件の照会等は、厚生労働省のホームページにてご確認ください。

入学試験

入学試験志願者は、必ず事前に相談してください。事前相談の日時につきましては、下記の期日までに日本福祉大学東海事務室看
護学研究科担当へ電話またはメールにて連絡してください。

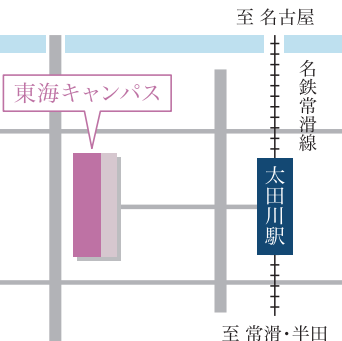
[第1期] 入試の場合 …… 2026年8月31日(月)～2026年10月2日(金)

[第2期] 入試の場合 …… 2026年11月24日(火)～2027年1月8日(金)

入学試験 区分	日本福祉大学看護学部・福祉経営学部 推薦入学試験	一般入学試験	社会人入学試験 社会人特別入学試験
出願期間	[第1期] 2026年10月9日(金)～10月23日(金) [第2期] 2027年1月15日(金)～1月29日(金)		
試験日	[第1期] 2026年11月7日(土) [第2期] 2027年2月13日(土)		
合格発表日	[第1期] 2026年11月14日(土) [第2期] 2027年2月20日(土)		
選抜方法	「書類審査」、「面接」により総合判定します。 ●「面接」 アドミッションポリシー (AP) に関する事項および取り組 みたい課題、取り組みたい 研究に関する事項	「小論文」、「面接」により総合判定します。 ●「小論文」 看護学に関する内容 ●「面接」 アドミッションポリシー (AP) に関する事項および取り組 みたい課題、取り組みたい 研究に関する事項	【社会人入学試験】 「看護実践報告書」による書類審査と、 「面接」により総合判定します。 【社会人特別入学試験(実習枠・地域枠)】 「面接」により総合判定します。
試験会場	東海キャンパス		

詳細は、以下ホームページをご覧ください。

東海キャンパスへのアクセス



名鉄「名古屋」駅	名鉄名古屋本線・常滑線 16分	名鉄 「太田川」駅	徒歩 5分	日本福祉大学 東海キャンパス
名鉄「中部国際空港」駅	名鉄空港線・常滑線 19分			

※大学院生は申請の上、自家用車での通学も可能となっており、キャンパス地下駐車場をご利用いただくことができます。

●お問い合わせはこちらまでお願いいたします。
日本福祉大学東海事務室 看護学研究科担当
〒477-0031 東海市大田町下浜田1071 番地
TEL:0562-39-3811(代表) FAX:0562-39-3281
e-mail:kango-g@ml.n-fukushi.ac.jp https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/



日本福祉大学大学院 看護学研究科 修士課程

2027年度 入学案内



日本福祉大学

研究科長 ごあいさつ

看護学研究科長 岡田 由香教授

「ふつうのくらしのしあわせ」を看護の力でデザインする

私たちの社会は今、複雑化・多様化する健康課題に直面しています。保健・医療・福祉のニーズが変化し続ける中で、看護職に求められるのは、単なるケアの提供にとどまりません。多様な人々が住み慣れた地域で、その人らしく最期まで暮らし続けられる「仕組み」を看護の力で創り出し、支えていくことが求められています。

看護学研究科は、2020年の開設以来、大学の理念である「ふつうのくらしのしあわせ（Well-being for All）」を掲げ、看護の専門的探究を推進してきました。この理念をさらに深め、社会の要請に応えるべく、「研究者・教育者養成」と「社会人の学び直し（リカレント教育）」を二本柱とするカリキュラムを再構築しました。

臨床や地域の現場で抱いた「なぜ？」や「もっと良くしたい」という想いを、確かな知へと昇華させる看護学研究科で共に学んで行きましょう。

養成人材像

新たなカリキュラムでは、一人ひとりの学びの目的やキャリアステップに合わせ、「研究コース」と「地域共生看護コース」の2つの柱で構成しています。「研究コース」では、看護の理論を深く追求し、科学的根拠を持って看護学の発展に寄与する研究者・教育者を育成します。「地域共生看護コース」では、実践現場の課題を学術的に分析し、多職種と連携しながら地域を牽引するリーダーを育成します。



共通のゴール：修士(看護学)の取得

■コース比較表

	研究コース	地域共生看護コース
こんな方におすすめ	理論的基盤を深め、新たな知見を創出したい方	現場の課題を即座に改善し、多職種連携をリードしたい方
身につく力	科学的論理思考、研究デザイン力	生活課題の分析力、多職種協働の調整力
最終成果物	修士論文（オリジナリティと新たな知見の探究）	課題論文（実践への直結・現場改善のエビデンス）
修了期間の選択	2年（標準）、3年（長期）	1年（集中）、2年（標準）、3年（長期）

地域共生看護コース

多様な生活背景をもつ人々が地域においてその人らしく暮らし続けることを支援する看護の実践的基盤を深化させ、地域に暮らす人々の生活に生じている健康課題（地域の生活課題）に対応できる高度実践者を目指します。

※高齢者、障がい者、子育て世帯、医療的ケア児、在留外国人、生活困窮者、DV 当事者など多様な人々の地域の生活課題に対応し、また、災害などの有事にも備えた複合的なニーズに応じて、包括的かつ継続的な支援を主体的に、医療・福祉・教育・行政など多様な分野と協働し、地域づくりを牽引できる人材を育成する。

教育課程

学生自身のテーマや課題にあわせてカスタマイズ可能なオーダーメイド型カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数	研究コース	地域共生看護コース	履修要件
			選択・必修別	選択・必修別	
大学院共通科目(13科目)	私の研究テーマと研究方法	2			大学院共通科目および看護展開科目より 研究コース12単位以上 地域共生看護コース14単位以上（必修含） *大学院共通科目6単位まで認定可
	研究方法概論Ⅰ オンデマンド	1			
	研究方法概論Ⅱ オンデマンド	1			
	研究方法概論Ⅲ オンデマンド	1			
	研究方法概論Ⅳ オンデマンド	1			
	先端老年社会科学講座	1			
	統計解析講座	1			
	多職種連携実践Ⅰ	2			
	多職種連携実践Ⅱ(単位認定科目)	2			
	多職種連携概論	2			
	プログラム評価論	2			
	リハビリテーション特論Ⅰ	1			
	リハビリテーション特論Ⅱ	1			
看護展開科目(7科目)	看護学研究方法特論Ⅰ	2	必修	必修	
	看護学研究方法特論Ⅱ	2	必修		
	看護教育論	1			
	看護理論(オムニバス)	1			
	家族支援特論	2			
	地域共生看護論 新設(オムニバス)	2		必修	
	保健医療福祉システム特論	2		必修	
看護専門科目(8科目)	看護マネジメント論(新設)	2		必修	専門科目 4単位以上
	看護方法学特論	2			
	成人看護学特論	2			
	精神看護学特論	2			
	地域看護学特論	2			
	老年看護学特論	2			
	ウィメンズヘルス看護学特論	2			
看護演習科目(2科目)	看護専門演習Ⅰ 看護方法学 成人看護学 精神看護学 地域看護学 老年看護学 小児看護学 ウィメンズヘルス看護学	2	必修	必修	演習科目必修 6単位
	看護専門演習Ⅱ	4	必修	必修	
	研究コース 地域共生看護コース	8 6	必修 必修		
研究科目	看護専門研究	8	必修		8単位
	看護課題研究(新設)	6		必修	6単位
修了要件					30単位以上

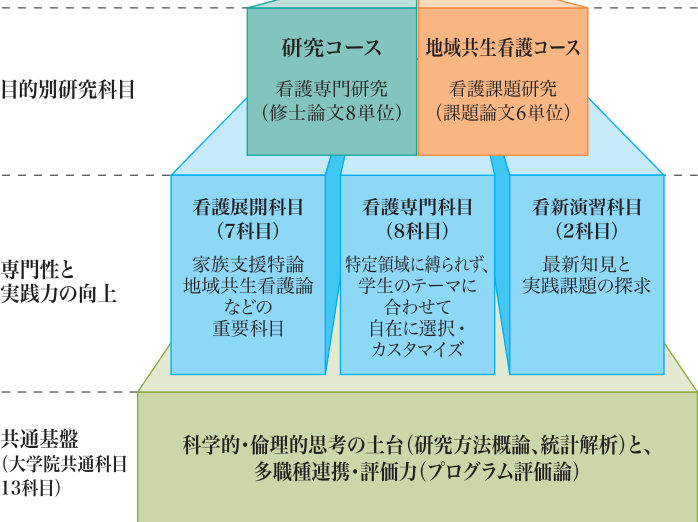
■担当教員と主なテーマ

担当教員	テーマ	教員紹介
新美 綾子	看護技術・看護教育及び災害看護活動の内容と効果評価に関する課題	
小笠原 ゆかり	地域や臨床、看護教育など看護が活躍するあらゆる分野において、視線計測や心拍数・皮膚電気活動などの生理的な指標を用いた効果評価や新たな方法の開発に関する課題	
白尾 久美子	急性期にある患者およびその家族に対する早期回復を目指した看護ケアや心理的支援に関する研究。診療所の看護や在宅療養を支えるための地域における多職種との協働に関する課題	
大野 晶子	慢性疾患をもつ患者および家族へのセルフマネジメント支援ならびに口腔ケアに関する研究。慢性疾患患者・家族が地域で生活を継続するためのセルフマネジメント支援と多職種協働に関する実践課題	
古澤 亜矢子	精神保健を核に、国際的視点を統合し、多様化する社会課題に応答する社会実装型研究を進め、地域イノベーションとコミュニティの発展に寄与する研究課題	
水谷 聖子	産業保健、公衆衛生、地域・在宅の視点から、人々の健康・QOLの向上に関する研究。健康マイノリティの人々や「誰も取り残さない地域づくり」に向けた看護実践に関する課題	
森 礼子	地域保健における健康危機管理を基盤とした住民の健康保持・増進の課題に関する研究。多様な生活背景やライフステージを踏まえた地域住民の健康保持・増進の課題	
岡田 由香	地域における多職種協働による育児支援モデルの開発、養護性を高めるための教育教材の活用、就労女性の健康課題とヘルスプロモーションなどウィメンズヘルス領域における実践的ケアの質向上を図る課題	
大橋 幸美	妊娠期から子育て期における親性の発達と家族への援助について、地域社会とのつながりや社会資源の活用等、多様なニーズ（子ども虐待、多胎児、外国人、里親等）を持つ家族に対して、地域での支え合い等への看護支援に関する課題	
田崎 あゆみ	あらゆる健康レベルのこどもと家族、慢性疾患や発達障がいのあるこどもと家族が地域で安心して生活できることを目指し、こどもの成長発達や自立支援、こどもの権利を守る看護等に関する課題	

■教員紹介

長砂 順子		初田 真人		藤田 佳子	
山本 さやか		尾関 唯未			

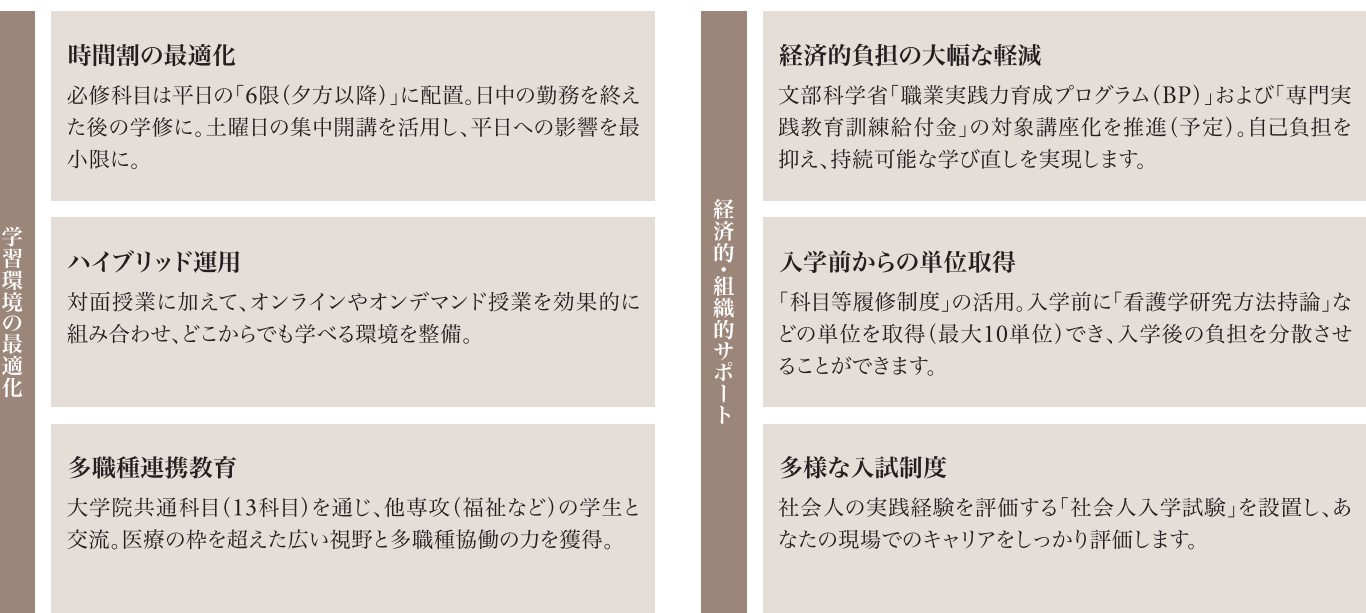
■学修進度



ライフステージに合わせて選べる、3つの履修モデル



■働きながら学び続けるための、学習環境とサポート体制



修士論文テーマ

- ・重症心身障がい児の特別支援学校の医療的ケア場面における保護者の期待

・急性期病院における新人看護師の就業継続に関する看護師長の認識

・要保護児童対策調整機関における保健師の活動

・統合失調症患者の治療薬選択における精神科看護師の支援
- ・中途採用看護師の職場継続のための自分の努力

・35歳未満就労女性の月経随伴症状の実態調査

・3年課程看護師養成所に勤務する熟達教員の授業力量に関する研究

・院内トリアージにおけるトリアージナースによる第一印象の実態